

一つは生活必要物資が供給面に於て需要面を上廻つてゐる等の現象から犯罪はいわゆる平時型になります。犯罪の平時型といふのは、終戦直後のように、むやみに暴力を用いるのではなく切歎つまつた時に暴力を用いるようになつたことです。そして犯罪を行なうのにやりよい弱い面を行きます。例を拾つて見ますと、誰れも居ない家にいわゆる空巣に這入る

例年、歳末になると火災が頻発し、特に気象の関係からして全国的に大火が多い時期である。

本年当市に発生した火災は一月に中島の木工所の火事から初まり万年の大火等々で、すでに三十八回、損害一億六千五百万円と見積られている。これら火災の原因の大部分がほんのちよつとした不注意である事実に思いをいたす時、——マツチ一本——でも注意しなければならないことがわかる。そこで判りきつたことであるが、次の火災予防上の心得を必ず実行し

险はないか、火を入れる容器は完全か、近くに燃え易いものはないか、飛火の心配はないかと常に注意し、できるだけ火のそばから離れないようにしておき、電気を使う場合には安全器のヒューズの代りに銅線や針金を入れたり、電流に不均合なヒューズを入れたりすると漏電やショートしやすくなり火災のもとになる。

「素人」の配線工事や手製の電気器具は危険である。必ず正しい工事と信用できる電気器具を使わなければならぬ。夜寝るときや人のいないところの電気は必ずスイッチを切るような習慣をつけなければならない。

三、煙突からの火災は煙突のどこかが壊れてそこから炎や熱気がもれたり過熱から附近の燃え易い板・壁・天井に燃え移つたり、飛火な

板にふれていないか、たき口に燃え易いものはないか等々の点に常に頃から注意を怠らないようすること。

このようなちよつとした注意で火災は未然に防げるのでが、とかく何かと心せわしい年の暮は、この注意がおろそかになり勝ちである。しかし、火災の自己及び社会に及ぼす損害の大をよく考えて、お互に「火の元」に充分注意しましよう。

搬入させて、後で学校の職員の方々で格納場所に格納することが一番よいのです。それから万一泥棒が這入つたのを発見したり、這入ろうとしているのを発見した場合の処置として、学校の授業を知らせるベルやサイレン等を充分活用することを考え、学校の周囲に居住するPTAの人達とよく連絡して置くことも必要です。

歲末火災予防運動

消防本部

歳末防犯について

警察本音



第21号

所行發
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼發行人
小泉重雄
印 刷 人
石橋貞吉
定價一部三圓

つわけであります。先づ
防犯は我が家からと申し
ますよう、各人が先づ
自分の家、自分の勤務先
で被害に罹らないように
充分注意することです。
以下、防犯の心がけにつ
いて個々の場合をこまか
くあげてみましよう。
商店では食事時でも必ず
店番は残すこと、又お店
が多忙で家人総出でお店
番をする時は、必ず裏口
や勝手口の鍵を掛けて置
き、そして時々見廻ること
が必要です。

一般家庭では、色々と歳
末で多忙でしようが、外出
の時は必ず誰か留守番
に残るようにしておきます。
どうしても留守番を残せ
ない時は戸締りを厳

かけたり、戸を開け閉
めするときコードを押
しつけたりしないこと
「素人」の配線工事や手
製の電気器具は危険で
ある。必ず正しい工事
と信用できる電気器具
を使わなければならな
い。夜寝るときや人の
いないところの電気は
必ずスイッチを切るよ
うな習慣をつけなければ
はならない。

三、煙突からの火災は煙
突のどこかが壊れてそ
こから炎や熱気がもれ
たり過熱から附近の燃
え易い板・壁・天井に
燃え移つたり、飛火な

どから火災になるので
ある。煙突の故障はな
いか、煙突が直接木や
板にふれていないか、
たき口に燃え易いもの
はないか等々の点に常
日頃から注意を怠らな
いようにすること。

このようなちよつとした
注意で火災は未然に防げ
るのだが、とかく何かと
心せわしい年の暮は、こ
の注意がおろそかになり
勝ちである。しかし、火災
の自己及び社会に及ぼす
損害の大をよく考えて、
お互に「火の元」に充
分注意しましょう。

てから、家の中の必要な電灯は全部消して休むようにすることが必要です。学校は学童給食用の物資や教育用の高価な諸物資を所有しているのですから、これらの物資の格納場所とその方法を充分研究しなければなりません。被害に罹らないためにはどうすればよいかという観点から考えて見ますと物資の格納場所は校舎内で当直室に近くすること格納場所に行くには宿直室の前か小使室の前を必ず通らなければ行けない。しかも格納場所へ行くには二度、三度と戸締りを開けなければいけない、という風にして置くことが必要です。

次に入荷した物資はどうしたらよいかといふに、一応手近な教室へ人夫に搬入させて、後で学校の職員の方々で格納場所に格納することが一番よいのです。それから万一泥棒が這入つたのを発見したり、這入ろうとしているのを発見した場合の処置として、学校の授業を知らせるベルやサイレン等を充分活用することを考え、学校の周囲に居住するPTAの人達とよく連絡して置くことも必要です。

(以下裏面へ続く)

